

日 本 鉄 鋼 協 会 記 事

理 事 会

第 5 回理事会 開催日: 12月21日. 出席者: 荒木会長, ほか 38 名.

1. 名誉会員推挙の件
A. R. PUTNAM (ASM Managing Director), 小林佐三郎 (本会前会長, 日本製鋼所会長) 両氏を来春名誉会員に推挙することを決定.
2. ISOTC17 事務局設立準備委員会の件
安永新日本製鉄(株)常務取締役を委員長とする準備委員会が発足した. イギリスよりの TC17 事務局引きつぎの準備体制をととのえたい.
3. 田畑専務理事海外出張報告
ドイツでの各国鉄鋼協会専務理事会議で第 4 回世界鉄鋼会議 (1982年) の開催国がオーストリーよりイギリスに変更した旨報告があった.

編 集 委 員 会

第 5 回編集運営委員会 開催日: 1 月 12 日. 出席者: 長嶋委員長, ほか 10 名.

昭和 54 年度俵論文賞の候補論文として 56 件があがった. 各論文に対し 5 名の査読者を決定した.
選考委員会を構成し選考委員会を 2 月 16 日に開催することを決定した.

第 11 回和文会誌分科会 開催日: 1 月 12 日. 出席者: 長嶋主査, ほか 12 名.

1. 14 件の論文審査報告がなされ, 掲載決定 11 件, 修正依頼 2 件, その他 1 件であった.
2. 「鉄と鋼」第 65 年第 6 号 (5 月号) に論文 10 件, 技術報告 2 件, 技術資料 1 件掲載決定した.

第 11 回欧文会誌分科会 開催日: 1 月 17 日. 出席者: 橋口主査, ほか 8 名.

1. 10 件の論文につき審査報告がなされ, 照会后掲載可 4 件, 修正依頼 4 件, 一旦返却 1 件, 掲載不適当 1 件であった.
2. 「鉄と鋼」65 年 1 号より, 1 件の Review を依頼することとなった. また, 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より, 2 件の研究論文と 1 件の Report を勧誘することとなった.

共 同 研 究 会

運 営 委 員 会

第 2 回委員会 開催日: 12月18日. 出席者荒木会長, ほか 24 名.

11月13日に行なわれた総務幹事会の議事内容を中心に討議が行なわれた.

1. 53年度共同研究会予算使用実績中間報告
2. 電気炉部会再編成

現状の第一, 第二分科会をとりやめ, 第二分科会は特殊鋼部会に合併させ, 第一分科会を新電気炉部会とする.

3. 鋼中ガス分析分科会設置

鉄鋼分析部会に鋼中ガス分析分科会を設置し, 最近要請の多くなったガス分析について共同研究を行なう.

4. 54年度共同研究会予算案審議

5. 共同研究会内規一部改訂

小委員会を共同研究会の組織として内規に追加した.

圧 延 理 論 部 会

第 61 回部会 開催日: 11月27, 28日. 出席者: 岡本部長, ほか 72 名.

開催地: 富士電機 東京工場

本部会は圧延理論に関する研究を自由に発表し討論を行なっている. 第61回部会の内容は次のようになった.

1. 板材圧延に関するもの……11件
(幅制御, 圧延機能力, 異周速圧延など)
2. 条鋼圧延に関するもの……2件
(形鋼, 線材圧延)
3. 鋼管圧延に関するもの……1件
4. 転造に関するもの……1件
5. その他……1件

なお, 本部会には圧延設備, 計装メーカーも参加し, 発表している.

標 準 化 委 員 会

第 2 回金材技研クリープデータシート連絡分科会

開催日: 12月21日. 出席者: 田中主査, ほか 12 名.

委員のほかファブリケータ 4 社よりオブザーバとして参加をお願いし, 次の議題により開催された.

1. 金材技研クリープデータシート作成報告 (No. 26 ~27) について.
2. SUS304HP 突合せ溶接継手のクリープデータシート作成について.

(1) 第 1 期計画の進行状況

ファブリケータ社で溶接施工された溶着金属のクリープデータ (中間報告)

(2) 第 2 期計画の溶接施工条件

ファブリケータ 1 社による溶接施工の予備実験結果の報告と施工条件の具体案の検討

議題 2 の第 1 期計画では, 溶接継手のクリープ性質を求め, そのバラツキの程度を調べ, 第 2 期計画では, 溶接継手のクリープ性質に及ぼす溶接施工条件の影響を調べることを目的としており, 溶接施工条件が承認された.

鉄鋼基礎共同研究会

運 営 委 員 会

第 31 回委員会 開催日: 12月21日. 出席者: 的場委員長, ほか 22 名.

1. 開催場所 鉄鋼協会会議室
2. 議事概要
 - 2.1 昭和 53 年 10 月末現在の会計実績について報告があつた。
 - 2.2 昭和 54 年度基共研予算案の提出された。前年比 2.2% 増ではば昨年並みの予算規模である。
 - 2.3 新規部会テーマ案について
昭和 54 年度より始まる新規 2 部会のテーマについて、テーマ案提出の経緯およびその内容についての説明と討論があつた。

特殊精錬部会

第 16 回部会第 6 分科会 開催日: 12 月 20 日. 出席者: 成田主査, ほか 10 名.

ESR 文献第 3 集, 特殊精錬法文献第 2 集, ESR 溶製材々質データ集に関して発刊迄の詳細スケジュールと

下記事項のとり決めを行なつた。

1. ESR 文献第 3 集について
 - 1) 未収録文献リスト一覧および 1978 年に発表された文献リストは, 付録として収録する。
 - 2) 2, 3 の追加文献を除き, 本会合の時点で文献の内容分類を終了し, 未調査文献は未収録として扱う。本文収録件数は 421 件 + 2 となる。などが決められ直ちにレイアウトの作成にとりかかつた。
2. ESR 溶製材々質特性データ集
ESR 溶製材々質データの作業スケジュールを検討した結果, 最終原稿作成が 3 月 10 日となり, 発行は 5 月に入ることになつた。
3. 特殊精錬法文献集について
EB. Processing Seminar, AVS 刊行物 (Vac. Metall. Proc. Trans. Vac. Met. Soc.) 等の資料については, 担当委員, 幹事で再度見直し整理することとした。

鉄鋼標準試料委員会ニュース

No. 40

I 鉄鋼標準試料分譲価格改訂について

日本鉄鋼標準試料に関して日頃特別のご配慮を賜わり厚くお礼申し上げます。このたび鉄鋼標準試料の分譲価格のうち化学分析用試料を下記のとおり改訂させていただきます。何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

なお新価格は昭和 54 年 4 月 1 日より実施いたします。

化学分析用

炭素鋼	7,500	強靱鋼A	7,500
銑鉄	6,500	強靱鋼B	7,500
検量線	8,000	肌焼鋼	7,500
微量元素A	6,500	工具鋼	7,500
〃 B	9,000	高速度鋼	11,000
専用鋼	6,500	ステンレス鋼	9,500
(窒素鋼	7,000)		

II 新製品頒布について

鋼中ガス分析用管理試料 3 種を 2 月下旬より分譲いたします。この管理試料につきまして技術解説をご覧下さい。

鋼種	推奨値	} 8本1組
GS-2a	O: 17.5ppm	
GS-3a	O: 38.6ppm	
GS-4a	O: 198.3ppm	